

令和6年度 第1回学校運営協議会 議事録

日 時：令和6年7月1日(月) 13:30～

場 所：和歌山工業高等学校 2階 大会議室

出席者

(学校運営協議会委員)

田中 一壽 氏 (和歌山商工会議所専務理事)

村田 頼信 氏 (和歌山大学システム工学部システム工学科教授)

田中 資則 氏 (元紀伊コスモス支援学校・校長)

高垣 晴夫 氏 (本校同窓会副会長)

西村 保展 氏 (本校同窓会副会長)

藤田 勝範 (本校校長)

(学校出席者)

阪中 潤 (全日制教頭) 日裏 克 (全日制教務部長) 小島 穰 (全日制生徒支援部長)

東 美幸 (全日制生徒支援部長) 児玉幸宗 (全日制総務部長)

木田 誠治 (定時制教頭) 中村 成均 (定時制教務部長) 中浴 運雄 (定時制生徒指導部長)

額田智香子 (事務長)

- 【1】 開会
- 【2】 校長あいさつ (藤田校長)
- 【3】 任命書の交付
- 【4】 委員紹介 ※昨年度と委員の変更がないため省略
- 【5】 会長及び副会長の選出
会長に田中一壽氏、副会長に村田頼信氏を選出
- 【6】 議事 (議長：田中会長)

(1) 今年度の学校運営について

藤田校長より、今年度の学校運営について資料に基づき説明。

つづいて、補足説明として、全日制教頭の阪中より、ホームページに掲載しているニュース&トピックスを引用して学校の取り組みを説明、定時制木田教頭より、資料を基に定時制の取り組みについて説明。

各委員から、以下の意見や要望がありました。

(委員) バッテリー教育について、もう少し説明をしていただきたい。

機械科と創造技術科で取り組むとあるが、電気科ではないのか。

制服について、夏のポロシャツ導入の様子はどうか。風紀は乱れたりしていないか。

キャリア教育の視点から、将来の目標を持てるようにしてあげて欲しい。

eスポーツ同好会は、現在のトレンドに乗っている。全日制定時制の合同のクラブということで、全定の交流が深まれば良いと思う。

教員の働き方改革については、非常に大切なことで、環境を整えることが大切である。

(回答) 近年バッテリー (蓄電池) の需要が高まっており、今後近畿で2万人の雇用が見込まれている中、経済産業省が中心となり、バッテリー教育を推進することに県教育委員会が賛同し、今年から本校でも機械科と創造技術科で取り組んでいる。

機械科には科目に自動車工学があり、創造技術科もものづくりの制御でバッテリーが関係することから、機械科と創造技術科で始めたが、今後電気科でも取り組んで行きたい。

夏のポロシャツについては、無地の白・黒・紺のポロシャツを試験導入という形で導入し

た。クラスに3、4名程度着用しており、もう少し暑くなれば着用率も上がると考えている。
ワンポイントを認めていないため、特に風紀の乱れはない。

(委員) 整美部について、詳しく教えて欲しい。

制服の変更について、和歌山市以外から入学してくる生徒は、負担大にならないか。

eスポーツ同好会の全日制定時制の合同クラブは非常に良いので活発に進めてほしい。

eスポーツ同好会にかかわらず、全定合同の取り組みを一層増やして行ってほしい。

(回答) 整美部については、これまで校務分掌の総務部の中の整美係(1名)であったものを、部として整備し、8名体制とした。まずは学習環境を整えること目的としており、日頃の清掃や大掃除の際に中心となっている。

現在でも女子は本校の制服を購入している。詰め襟の黒の制服の需要が少なくなり、価格が高騰するとの話もある。和歌山市以外でもブレザータイプを採用する中学校もあると聞いているので、大きな影響はないと考えている。和歌山市の中学校がどのような制服となるかにもよるが、エンブレムで本校の制服と分かるようにするなど、検討していきたい。

(委員) バッテリーの開発については、中国が盛んであると聞かし、これから大切な分野であると思う。

整美部については、校内の環境を整える活動だけではなく、校外にも広めて欲しい。

eスポーツについては、競技化され、オリンピック種目になるかもという話もあるような分野である。

若い先生が増えてきているため、働き方改革の視点などで、若い先生と話をしてみたい。

台湾の2校との交流の話があったが、もっと留学生と交流する機会を増やせたらよいのでは。

外国籍のこどもの就学も増えてきている。

外国の生徒と交わることで、人をリスペクトすることを学べるのではないか。

(委員) 定時制の取り組みの中で、学校行事の参加率が80%という話があったが、不登校経験者が多い中、学校行事をどのような視点で計画しているか教えて欲しい。

(回答) 特別支援の視点を大切にしている。

校務分掌の支援委員会で、課題を抱えている・抱えていないに関わらず全員のカウンセリングを行っていることや、生徒情報を教職員で共有できており、細かな声かけや対応ができているためと考える。

(委員) 生徒指導部と教育相談室を生徒支援部としたことによるメリットを教えて欲しい。

長期インターンシップはどのような形で実施しているか。

和工ハウスプロジェクトはどのように進んでいるか。

防犯カメラを設置したことによる保護者の反応はどうか。

(回答) 令和4年12月に文部科学省の生徒指導の指針となる「生徒指導提要」が改訂され、これまで以上に個々の生徒の支援という点に着目した生徒指導に変わったことを受け、本校の生徒指導の在り方も徐々に転換してきている。その一環として生徒支援部に改編を行った。金曜日には、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの方が来てくれるため、それらの活用も積極的に行っている。

長期インターンシップについては、金曜日の午後に創造技術科3年生が授業として行っている課題研究の時間帯に、菱岡工業様に3名と日本システム家具様に1名、約半年間の期間お世話になっている。単位認定や評価は「課題研究」の中で行っている。

和工ハウスプロジェクトは、建設用3Dプリンタでモニュメントとして製作することを検討している。学校で建設用3Dプリンタを使って製作する様子を生徒に見せることも検討したが、費用の関係もあり、工場で製作する様子をビデオ撮影して生徒には見ってもらう形になりそうだ。併せて、(株)ポリウスの大岡社長は、18歳から4社の起業経験があるなど勢いのある方なので、生徒に興味を持ってもらえるようなお話しをしていただきたいと考

えている。

防犯カメラについては、教室内ではなく、本館の3階と4階の廊下に設置した。

設置について、保護者に文書でていねいに案内したが、特に何か連絡をいただいたということはない。

(委員) 長期インターンシップは、卒業後に雇用に繋がる可能性もあることから、協力をしたい企業はたくさんあると思うので、商工会としても協力できるところはたくさんある。

(2) 次回の協議題について

(委員) 先生方との懇談の機会は持ちたい。

全日制と定時制の交流について協議したい。

先生方の働き方改革についてはどうか。

保護者が学校運営についてどう考えているかを知る機会を設けて欲しい。

昨年から実施している建築科のBIM教育についてはどうなっているか。

資格手帳により資格取得のきっかけとなると思うが、資格取得にはお金がかかる。県の施策にできないか。

同窓会とのつながりをどうしていくべきか考えてはどうか。

昨年実施した生徒アンケートを今年は実施しないのか。1年生だけでも実施してほしい。

(委員) 同窓会組織も高齢化が進んでいる。

同窓会に関するアンケートを取ってもらえないか。

最近の生徒は、メリットやデメリットを考える生徒が多くなってきている。

同窓会組織にメリットを感じていないのかなどが知りたい。

(委員) いただいたご意見や要望を基に事務局と次回の協議題について検討させてもらいたい。

昨年、一昨年と授業見学を行っているため、今年度の第2回は授業見学を行わず、15時30分～17時の時間帯で学校運営協議会を実施することとする。

【7】 今後の会議日程について

配付している調査表を7月5日までにご提出いただき、日程調整をさせていただくこととした。

【8】 閉会 藤田校長あいさつ